

平成 27 年度入学試験問題(前期)

国 語

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いて見てはならない。
2. 本冊子には、一から三までの 3 問題が印刷されていて、合計 14 ページある。
落丁、乱丁、印刷の不鮮明な箇所等がある場合には、申し出ること。
3. 解答用紙を別に配布している。解答は、解答用紙の指定された箇所に記入すること。所定の箇所以外に記入したものは無効である。
4. 解答の字数を指定している場合、句読点や符号やかっこ等もそれぞれ一文字分に数える。
5. 解答用紙の指定された欄に、学部名および受験番号を記入すること。
6. 配布された解答用紙は、持ち帰らないこと。
7. 配布された問題冊子は、持ち帰ること。

— 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

著作権の関係上、省略します。

(阿部公彦『詩的思考のめぐり』より)

問(一) 傍線あゝおの漢字の読み方を平仮名で書きなさい。

あ 丁寧 い 不審 う 気配 え 潜む お 遭遇

問(二) 傍線カゝコのカタカナを漢字に直しなさい。

カ ニ ナ キ ジュウゾク ク ルイエン ケ ボウトウ コ レンサ

問(三) 空欄

| |
|---|
| A |
|---|

| |
|---|
| E |
|---|

 に入るもつとも適当な語を次より選び、それぞれ記号で答えなさい(それぞれの記号は一度しか使わない)。

ア しかし イ おそらく ウ とにかく エ あるいは オ たしかに カ ひいては

問(四) 傍線1「問題にしたいのは、詩のどこを読むのか、ということですよ」とあるが、筆者は「詩のどこ」を読むべきと考えているか。本文中より八字以内で抜き出して答えなさい。

問(五) 傍線2「地面はあくまで地面。それをたとえば『内面』と読み替えたり『真実』とか『心の闇』と読み替える必要はない」とあるが、この例でいう「読み替え」とは詩をどのように読むことが説明しなさい。

問(六) 傍線3「とくにこの詩で目につくのは動詞です」とあるが、引用された詩や本文における動詞の用法について述べた次の説明を読み、後の問いに答えなさい。

引用されている詩や本文には、一般とは異なる動詞の用法がみられる。たとえば、引用されている詩で「あらわれ」のあとに句点が付けられているのがそれである。この「あらわれ」は文末でありながら動詞の終止形ではなく連用形となっている。こうした用法は、

| |
|---|
| a |
|---|

 効果がある。また、本文には動詞の連用形そのものを名詞として用いている用法があり、その例として「

| |
|---|
| b |
|---|

」がある。

(1) 空欄

| |
|---|
| a |
|---|

 に入るもつとも適当な内容を選択肢より一つ選び、記号で答えなさい。

ア 動き続けていたものが急に止まるような印象を与え、この詩では伸び続けていた草の根や鼠の巣や青竹の根が不意に止まってしまいうように感じさせる

イ その動きが同じ場所で繰り返されるような印象を与え、この詩では草の茎や鼠の巣や青竹の根が同じところから何度も生えてくるように感じさせる

ウ 一つの動きが別の動きと一体化するような印象を与え、この詩では草の茎や鼠の巣や青竹の根のそれぞれが伸びて互いに絡み合っているように感じさせる

エ さらに動きが生まれてくるような印象を与え、この詩では草の茎や鼠の巣や青竹の根などがあちこちから次々に生まれてくるように感じさせる

オ 一度始まった動きが止まることなく続いていく印象を与え、この詩では草の茎や鼠の巣や青竹の根の動きが止まることなく永遠に続いていくように感じさせる

(2) 空欄

| |
|---|
| b |
|---|

 に入るもつとも適当な語を本文中より三字で抜き出して答えなさい。

問(七) 傍線4「一見矛盾しているようでもあるのですが、そこには『洗われ』のニュアンスもあることを考えるとわかりやすくなります」といえるのはなぜか。ここでいう「矛盾」の内容と「洗われ」のニュアンスがもつ働きについてそれぞれ明らかにしながら、本文中の言葉を用いて百五十文字以内でわかりやすく説明しなさい。

問(八) 傍線5「植物の生命力の二面性」とはどのようなものか、本文中の言葉を用いて三十文字以内で簡潔に説明しなさい。

問(九) 傍線6「この箇所では詩は決定的に人間化されるのです」といえるのはなぜか。「人間化」という表現の意味するところを明らかにしながら、百二十文字以内でわかりやすく説明しなさい。

問(十) 空欄

| |
|---|
| I |
|---|

 に入るもつとも適当な語句を本文中より漢字二字で抜き出して答えなさい。

問(十一) 空欄

| |
|----|
| II |
|----|

 と

| |
|-----|
| III |
|-----|

 に入るもつとも適当な一字をそれぞれ答え、慣用表現を完成させなさい。

二 次の文章は『唐物語』の一節で、玄宗皇帝と楊貴妃の話である。これを読んで、後の問いに答えなさい。

著作権の関係上、省略します。

（『唐物語』第十八話）

(注) ○玄宗—唐王朝第六代の皇帝。 ○元献皇后、武淑妃—玄宗皇帝の寵愛した妃。

○高力士—玄宗に仕えていた宦官(従者)。 ○楊家の娘—楊貴妃のこと。 ○いきざし—容姿。

問(十二) 傍線1・2について、1は主語を補い、2は「それ」の指すものを明示して、わかりやすく現代語訳しなさい。

問(十三) 傍線A「ふく風も枝をならさず、ふる雨も時をたがへざりければ」について、ここに用いられている修辞法でもっとも

ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 枕詞 イ 序詞 ウ 掛詞 エ 対句 オ 縁語

問(十四) 傍線B「楊家の娘をえ給ひてけり」について、「楊家の娘」の説明でもっともふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 楊家の娘は、元献皇后や武淑妃に容姿が大変よく似た女性であった。

イ 楊家の娘は、玄宗皇帝好みの、都会育ちで美しい女性であった。

ウ 楊家の娘は、高力士に方々探させて、ようやく見つけ出した女性であった。

エ 楊家の娘は、実は人を惑わす天女であり、玄宗皇帝を意のままにした女性であった。

オ 楊家の娘は、大変貧しい家柄であったが、美しさと知性を兼ね備えた女性であった。

問(十五) 二重傍線 a と c の助動詞について、終止形を答え、意味をア、キの中から選び、記号で答えなさい。

ア 意志 イ 打消 ウ 推量 エ 過去 オ 断定

カ 尊敬 キ 存続

問(十六) 傍線 C 「かぎりなき御心ざしをも、よの人ことわりとおもへり」について、「よの人」は何を「ことわり」と思ったか、

「御心ざし」の内容にふれながら、七十字以内で説明しなさい。

問(十七) 傍線 D 「三千人の女御きさき」について、御門と三千人の女御・后との関係はどのようなものであったか、五十字以内で説明しなさい。

三 次の記事を読んで、後の問いに答えなさい(設問の都合で本文中の返り点、送り仮名を省いたところがある)。

著作権の關係上、省略します。

(注) ○千乘―地名。現在の山東省内の地。 ○奴―奴隸。しもべ。 ○屈―まげてお願いする。請う。

○千疋―疋は織物の長さを表す単位。一疋は約九・五メートル。 ○糸―絹糸。

○天使我償之―この天は天帝。万物を創造し、この世界を秩序づける人格神のこと。

問(十八) 二重傍線 a と b の意味を書きなさい。二重傍線 c と d の読み方を、平仮名で書きなさい。

問(十九) 傍線 1 は、「当に身を以て奴と作すべし」と読む。この読み方に従って、返り点をつけなさい(送り仮名は不要)。

問(二十) 傍線 2 を、書き下し文にしなさい。

問(二十一) 傍線 3 を、わかりやすく現代語訳しなさい。

問(二十二) 董永は、なぜ短い期間に莫大な借財を返すことができたのか、天帝という語を用いて六十字以内で説明しなさい。